

TOP page

資料室

イベント情報

講師を探す

Worker's 広場

関連リンク

資料室



HOME | 資料室 | 一般教養 | 人間関係とコミュニケーション | 角の立たない断り方

労働組合

労働者福祉・共済

一般教養

社会保障

労使トラブル法律相談Q&A

労働関係法

経営全般

人間関係とコミュニケーション

ライフプラン

男女共同参画

公務員関係法

日朝の歴史

7つの習慣

中東の歴史

ボランティア活動

環境活動

社会貢献活動

自己啓発

生涯学習

外交・防衛問題

資本論

角の立たない断り方

角の立たない断り方

1. 断れない原因を知る

- 人間関係が壊れるのが怖い
→断った相手を不快にさせるかもという心理。
- 自分の価値が下がると思いこむ
→引き受けて存在意義を認められたいという欲求。
- 「ゼロか100か」の発想に陥る
→断るか引き受けるかのどちらかしかないと思込む。

2. どう断る？

- 『断りの公式』で交渉する
→「謝罪又は感謝+断り+代替案」のパターンで答える。代替案が重要。
- 「延期の戦術を使う」慌てて即答しない。
→「確認しますのでお待ちください」と保留し、代替案を考える。
- 「制御が難しい外的要因」を理由にする →自力では解決が難しい理由を示す。
例)「お金を貸して」という相手に「お金は妻が管理していて、僕の自由にならない」と答える。

3. 表現に細心の注意を

- 否定形は肯定形または柔らかな表現に
例)「できません」は「○○ならできます」や「致しかねます」。
- 「クッション言葉」を活用
→「申し訳ありませんが」「勝手に申して恐縮ですが」「私どもの力不足で」などを付けると印象が柔らかくなる。
- 曖昧な言葉は避ける
→相手に無用な期待を持たせないように。

資料に関する解説やサイト内ブックマーク、簡単なクイズもできる無料会員登録のお申し込みはこちらになります。

Worker's Library 会員登録

お申し込みはこちらです。

>>一覧へ戻る

[教育カリキュラム](#)

[日本国憲法](#)

[傾聴](#)

[語り部スキル](#)

[▶ キーワード検索はこちら](#)

[▶ サイトマップ](#) [▶ このサイトについて](#) [▶ 個人情報保護の取組みについて](#)

[▶ ページTOPへ](#)

[TOP page](#)

[資料室](#)

[イベント情報](#)

[講師を探す](#)

[Worker's広場](#)

[関連リンク](#)

Worker's Library 静岡で働く人のための資料閲覧サイト
JAPANESE TRADE UNION COFEDERATION DB SITE **【ワーカーズ・ライブラリー】**

Copyright© WORKER'S LIBRARY All rights reserved.